

TurningPoint を利用した 質問作成例



TurningPoint
AnyWhere



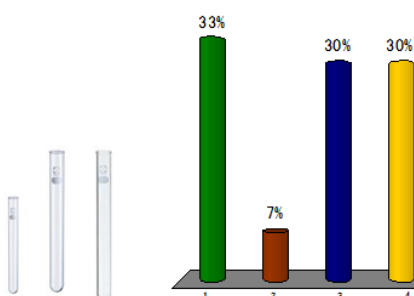
TurningPoint

学生の講義への参加意識を高めて集中させる鍵は、的確な質問を的確なタイミングで投げかけることにあります。「はい」・「いいえ」といった単純な質問だけでなく様々な質問を組み合わせることで、一方的になりがちな講義を、スチューデント・レスポンス・システムを最大限に活用した活発な双方向講義へと変えることができます。

論理的な思考を身につけさせたり興味を引くような**意味のある**質問を学生に投げかけることで、講義中の双方向性が向上し、コラボレーションやコミュニケーションが活発になります。また、学生からのフィードバックがその場で入手できるので、リアルタイムで学生のニーズに応えることができるようになります。

水は水素と_____で出来ている。

1. 酵素
2. 炭素
3. 酸素
4. 窒素



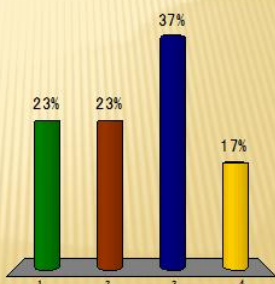
基本的な想起質問

← これまで学習した事柄や概念を思い出させるための質問。

- これまでの講義内容に対する理解度を確認。
- 講義内容を評価するため、講義前後での学生の理解度の変化を把握。
- 次のトピックに移る前に、学生がきちんとそれまでの講義内容を理解しているかを確認。

次のうち、駐停車禁止でないものはどれか。

1. 交差点とその端から5メートル以内
2. トンネルの中
3. 踏切とその前後10メートル以内
4. 火災報知器から1メートル以内



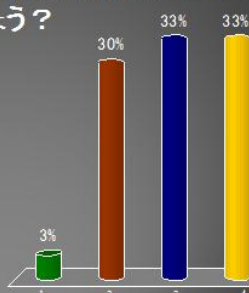
概念の理解質問

← 講義内容を思い出させるだけでなく、定義を伴う概念の理解を問う質問。

- 誤解や思い違いが起こりやすい回答を選択肢に入れ、議論を促進。
- 学生が正確に理解していない概念や事象を把握。
- 学生の回答がいくつかに分かれるような質問を作成し、それらの回答についての議論を促進。
- 短期的な記憶よりも、しっかりとした深い理解を促進。
- 「下記のうち、概念Xの特徴として当てはまらないものはどれか?」
- 「下記のうち、概念Xの特徴として当てはまるものはどれか?」

一郎君は自分で考えることなく、誰の言うことでも賛成します。このような行動を四字熟語では何と言うでしょう？

1. 我田引水
2. 付和雷同
3. 異口同音
4. 和顔變語



応用質問

← 特定のシチュエーションや環境で、概念の知識や理解を応用させる質問。

- 学生が間違えそうな回答を選択肢に含める。
- 多くの学生が間違って回答した場合、そう考えた根拠を説明させる。
- 事例や選択肢について、学生間で議論を促したい場合に使用。
- 「もしあなたがXの立場なら、〇〇のケースではどのように動くか?」

TurningPoint を利用した 質問作成例



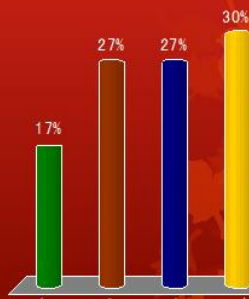
TurningPoint
AnyWhere



TurningPoint

天ぶらを揚げていたら地震が起きました。
まずしなければならぬのは...

1. 水をかける
2. コンロの火を止める
3. 元栓を開ける
4. 身の安全を確保する



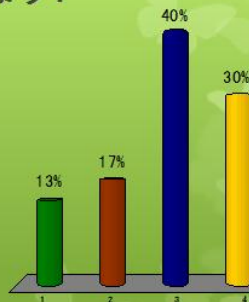
手順型質問

課題やシチュエーションについて、手順やテクニックといった知識の応用を促す質問。

- 物事を進める手順やその結果を示すことで、手順を踏む意味を認識させる。
- 学生が理解できなかった手順のフォローアップ。
- 「〇〇の場合、次にどのステップをとることが望ましいか？」

ヘチマを育てていたら大きな緑色の実
がなりました。やがて熟した後、この
実はどうなるでしょう？

1. 黄色くなる
2. 緑色のまま落ちる
3. 赤くなる
4. 何も変わらない



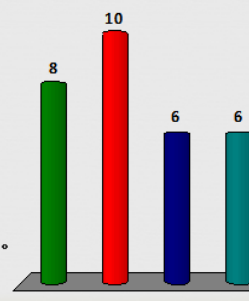
予想質問

実験や手順の結果を予想させる質問。

- 前もって回答を予想させることで、正解を引き出す。
- 不正解が多い場合は、それだけ更なる説明を求める学生が多いということ。
- 質問によって学生が学習に興味をもつようになったら、学生同士で課題について議論する時間を設ける。
- 学生の概念の理解を促進。概念がきちんと理解されたかを把握。
- 「YにXを加えると、結果にどのような影響を与えるか？」

太陽電池パネルと太陽熱温水器は、太陽エネルギーと結びついたアクティブソーラー技術で利用されます。したがって、

1. アクティブソーラー技術は、太陽エネルギーを無駄にする技術だ。
2. 太陽電池パネルと太陽熱温水器は、太陽エネルギーと結びつく。
3. アクティブソーラー技術は、太陽エネルギーの取熱にソーラー技術は利用していない。
4. 太陽熱温水器は、太陽エネルギーの最適な取熱装置である。



論理的思考質問

複数の概念を分析させたり、特定の論理を用いて考えさせるような質問。

- 複雑な質問や複数の回答選択肢について、論理的に考えさせる。
- それぞれの回答選択肢につき、結果を踏まえて議論をさせる。
- 議論をした後で再度投票し、回答に変化があったかを観察。
- その場でフォローアップ質問をすることで、なぜその回答が選択されたのかを考えさせる。

TurningPoint を利用した 質問作成例

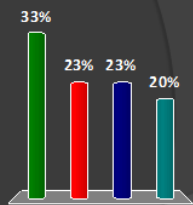


TurningPoint

TurningPoint
AnyWhere

設計書どおりに模型飛行機を組み立てましたが、真っ直ぐに飛びませんでした。原因として可能性が一番高いのは何だと考えますか？

1. 接着が甘かった
2. 設計書が間違っていた
3. たまたま不良品だった
4. 飛ばし方が悪かった



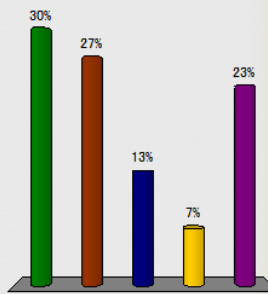
最適な回答

回答の選択肢に正解が複数含まれる質問。事実に基づいた論理的思考を育成。

- どれも回答として成り立つような選択肢から最適な回答を求めるための論理的思考を身に付けさせる。
- 学生間で回答の選択肢について議論をさせる。
- 学生に、最適と思われる回答についてその根拠を主張させる。それぞれの回答についての主張が出揃ったところで投票を実施。
- 患者への最適な処置を選択させるなど、医療現場でのシナリオなどに応用可。

今日の授業は

1. とても面白かった
2. 面白かった
3. ふつう
4. あまり面白くなかった
5. つまらなかった



プレゼンテーション評価質問

プレゼンテーション、プロジェクト、イベント等を評価するための質問。将来イベントを計画する際に役立つフィードバックを収集。

- 複数のカテゴリで、何段階かの感想や満足度などを調査。
- 収集したレスポンスを何に使用するのか、しっかりとした目的をもって質問を作成。
- 選択肢は短く簡単なものとし、中間点を設定。
- 調査には異なる種類の質問をバランスよく配置し、説明の必要な語句については事前にきちんと定義。

いじめをなくすには、どうしたらいいと思いますか？

自由回答質問

自由に回答を記述させる質問。ResponseWareで記述回答を送信。

- 学生がどのように反応するかがはっきりとわからない場合に、柔軟に多数の回答を引き出すことが可能。
- 多くの異なるタイプの回答が想定される場合や、ブレインストーミングなど。

TurningPoint を利用した 質問作成例



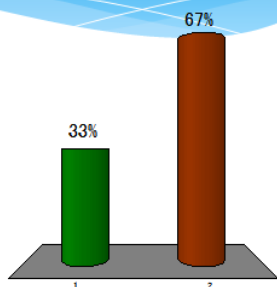
TurningPoint
AnyWhere



TurningPoint

お弁当の日をなくすことについて、
どう思いますか？

1. 給食があるので、別にお弁当の日はなくてもかまわない。
2. 月に1日くらいは給食ではなく、お弁当を持ってきて食べる日があってもいい。



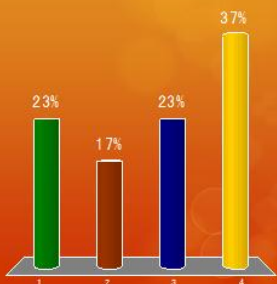
意見を探る質問

課題に対する多角的な意見を収集する質問。学生の考え方を深く知ることで、プレゼンテーションや講義の進め方を調整。

- 学生の意見などについて正確な情報を収集し、講義を学生に合わせて調整・修正。
- センシティブなトピックについて学生がどのような意見を持っているのかを、推測ではなく正確に把握。
- 匿名投票は正直な回答を収集できるので、意見を探る質問に最適。
- 学生のデモグラフィック情報、意見、経験などを収集。
- 学生同士が共有できるようなトピックを提示し、お互いの経験を共有することで議論を促進。

温度、空気、水があれば大豆は発芽する。

1. そのとおりだ
2. たぶん、そのとおりだ
3. ちがう気がする
4. まちがいだ



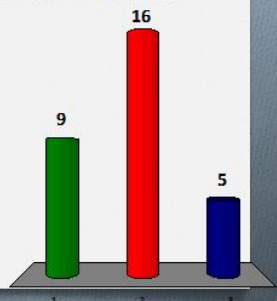
自信の度合いを測る質問

問題に対する学生の自信の度合いを測る質問。

- 学生の知識レベルを把握して、仮に内容をきちんと理解できていなくて回答が推測レベルに過ぎない場合には、再講義も検討。
- 課題を終えた学生に自信の程を聞く。「どの程度の自信があるか？」
- 学生のニーズや必要な教材などを把握するために、講義の最初にトピックに関する学生の自信のレベルを問う。

今学期の講義の進め方は？

1. 適切だと思う
2. 早すぎる
3. 遅すぎる



モニタリング質問

効果的な講義ができているかを把握するため、講義内容や進め方について学生の評価を問う質問。

- 学生の進捗状況を比較するための基準となる資料を収集。
- どのような講義手法が学生にとって効果的なのかを把握。